

よあけの焚き火

劇
ビデオ
カラー／72分
日・英語（字幕）版

- 企画・製作・配給
桜映画社
- 配給協力
ボレボレ東中野

スタッフ

- プロデューサー
村山憲太郎
- 企画
阿部兼美
- 脚本・演出・編集
土井康一
- 助監督
藤原 健
- 監督助手
松村慎也
細矢知里
- 撮影
丸池 納
- 撮影助手
田村ゆう子
御園涼平
- 照明
三重野聖一郎
- 照明助手
雨平 巧
- 制作補
小林えりか
- 制作主任
宮下 要
- 制作
蔵原実花子
- 制作応援
今野聖輝
花崎 陽
- 舞台撮影Bカメラ
大沢佳子
- Bカメラ助手
南 由佳
- 録音
北村峰晴
- 録音助手
片倉透哉
- 美術
吉野章弘

第21回小津安二郎記念蓼科高原映画祭正式招待作品
第67回サン・セバスティアン国際映画祭正式招待作品
第23回オリンピック国際映画祭最優秀監督賞

映画は、大藏流能楽師狂言方として実際に舞台で活躍する大藏基誠（おおくらもとなり）と、康誠（やすなり）親子が主演をつとめた。共演にミュージシャンの坂田明が宮下老人役、孫娘の咲子役に鎌田らい樹。

伝統芸能をモチーフに「伝えること」を描いた劇映画。





冬、父と息子は二人きりで山の稽古場へ向かう。650年の伝統をもつ狂言方の家に生まれた大藏基誠は、少年時代に父や兄と訪れていたこの場所に、10歳になる息子・康誠を初めて連れてきた。基誠は幼い頃を思い出しながら、父が自分にしたように、息子に稽古場の掃除から手ほどきをする。しかし康誠は、ふだんより厳しさを増して接する父に戸惑い、稽古を投げ出しそうになる。家から連れてきた金魚に一人語りかける康誠。

そんなある日、近くに住む老人・宮下と、その孫の咲子が訪ねてくる。数年前、災害で両親を亡くした咲子は、父親の故郷に身を寄せている。狂言の厳しく真剣な稽古を目にした咲子は、自分より幼い康誠が、懸命に稽古する光景に目を奪われる。

山々が春の気配を帯びてきたある日、咲子に導かれて森に入った康誠が、そこで目にしたのは、この森で何百年も生きてきたであろう巨木と、その圧倒的な生命力の下で静かに朽ちていく命の姿だった。続いていくもの、途絶えるもの……巨木の下、康誠は、初めて咲子の深い悲しみに触れる。

自然という大きな時間の流れ、連綿と続いてきた狂言の伝統世界、家の歴史を背負った康誠と、家族を失った咲子。今ここにいる自分たち。それぞれの心に、小さな決意が生まれ始める……。

- ヘアメイク
小林瑞希
- 衣裳
水嶋依子
- 音響効果
帆苅幸雄
- 整音
荒井富保
藤林 繁
- スチール
公文健太郎
- 編集協力
村石 誠
石井香奈江
- 音楽
坂田 学

- 出演
大藏基誠
大藏康誠
坂田 明
鎌田らい樹
他